

2016年10月7日

ヒバクシャ国際署名推進連絡会について

1. 署名運動の目的と内容・目標

① 署名運動の目的

被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを求めてきました。核兵器廃絶は、被爆者が心から求め、訴え続けてきた願いです。核兵器廃絶国際署名は、この願いを実現させるための署名です。核保有国とその同盟国は核抑止政策に固執しています。政策を変えさせるのは、国民の声・要求です。国内外の世界のすべての人が核兵器廃絶を求めることで、核兵器の廃絶を実現することを目的とします。

② 被爆者の訴えと署名内容

*署名用紙を参照

③ 署名の訴え先

世界の全ての人。特に核保有国とその同盟国の国民

④ 署名の目標数

2020年までに世界数億の人

⑤ 署名期間

2016年4月から2020年9月末

⑤ 署名提出先

毎年の国連総会（2016～2020年）

今年は10月初旬に提出

（第一委員会議長と軍縮特別代表キム・ウォンス氏宛）

⑥ 締め切り

毎年国連総会開始直前。今年は9月30日必着

⑦ 運動及び回収方法

運動の方法、署名の集約など

1：署名は、紙版だけでなく、オンライン（change.org）でも行う

2：各団体は、創意工夫して、運動を進める

3：集約は各団体で行い、目録を事務局が集計（個人で集めた分は事務局が集計する）

⑧ 提出方法

推進連絡会及び事務局の代表者が国連に直接提出。毎年被爆者が手渡す、今後事務局メンバーが付き添うことも検討する。今回は事務局として被団協事務局次長藤森さんが代表して提出する。

2. 推進連絡会について

① 参加団体の確認 *別紙参照

② 役割の確認

ヒバクシャ国際署名の運動の主体は推進連絡会が担う。推進連絡会は、「ヒバクシャ国際署名」を推進するために、宣伝・広報活動、賛同者（団体）の組織、署名集約、財政などについて連絡・検討・確認し、運動を進める。連絡会の下に事務局を設け、日常業務にあたる。事務局は会議の日程調整など事務的な役割に加え、各団体が行う運動の様子を集約し情報発信の役割も担う。

③ 賛同団体、賛同人について

運動に賛同する著名人を、国内外で募る。 *国際的賛同人（宗教人、ノーベル平和賞受賞者、平和団体、学者・文化人、引退した政治家など） *国内賛同人（ノーベル賞受賞者、文化勲章受章者、平和団体、学者・文化人、引退した政治家など）

3. 広報について

公式ホームページは <http://hibakusha-appeal.net>

その他、Facebook ページ、change.org のページを持つ。海外発信のために HP は HP 内にその他は独立した英語ページを作り、Facebook と change.org は新たにページを作る。（英語版については現在作成中）

4. 運動の資金について

①賛同金（団体・個人）②カンパ ③グッズの販売 ④クラウドファンディング

以上